

産 業 建 設 常 任 委 員 会 報 告 書

会 議 日 時	平成 2 4 年 6 月 1 4 日（木） 午前 9 時 ～ 午後 4 時 3 0 分			
会 議 場 所	●議員控室 ○委員会室 ●現地（場所：弘川、桧生原、希ノ川）			
出 席 者 数	委員 6 名のうち出席者 6 名			
出 席 委 員	委 員 長	堀 本 伸 一	委 員	岡 峯 久 雄
	副委員長	竹 内 常 喜	委 員	津 野 吉 得
	委 員	楨 野 章	委 員	森 健 吉
欠 席 委 員				
事 務 局	事務局長	田 辺 卓		
説 明 者	各地域代表者 3 人 ： 山崎明博、山崎豊繁、田辺俊介			
	上下水道課長 ： 高橋一夫			
	建設課長 ： 佐竹一夫			
	大正総合支所産業建設課長 ： 下藤広美			
	農林水産課長 ： 熊谷敏郎、農林水産課副課長 ： 竹本英治			
	副町長 ： 渡部睦			
傍 聴 者				
付 議 事 件	委員会に付託された陳情 4 件の審査及び県に出店計画のアンテナショップ開設、			
	興津漁協運営状況の聞き取り調査。			
審 査 ・ 調 査	1 陳情 24-8、弘川地区水道施設整備に関わる陳情書。（採択）			
	2 陳情 24-9、大屋敷町道認定陳情書。（採択）			
	3 陳情 24-10、1 次産業の再生・振興を求める意見書。（不採択）			
	4 陳情 24-13、町道四手ノ川宮ノ谷線改良工事。（不採択）			
反 対 意 見	陳情 24ー13 に付き意見が分かれ採決の結果、賛成 2 人、反対 3 人、（不採択）、			
	その他全員一致の意見結果である。			
報 告 日	平成 2 4 年 6 月 1 5 日（金）		委 員 長 署 名	堀 本 伸 一

産業建設常任委員会

【委員会審査経過報告書】

陳情第24 - 8号

(1) 件 名	陳情書(弘川)
(2) 現地調査	平成24年6月14日
(3) 現地協議	地元代表者及び関係者の説明、協議
委員の意見	
○ 地域5世帯のみ水道施設整備が取り残されたのは何故か。	
○ 井戸水利用の設備が老朽化しており早急な対応が望まれる。	
○ 近年、井戸水の枯渇(水量)減少、さらに田植え時期になれば井戸水に濁り現象が起きていると聞く、子どもやお年寄りの健康阻害を考え、早急に対処すべき。	
以上の内容意見が協議され委員会の審査決定をした。	
(4) 審査結果	採択(全員一致)
(5) 反対意見	なし

陳情第24 - 9号

(1) 件 名	大屋敷町道認定陳情書(桧生原)
(2) 現地調査	平成24年6月14日
(3) 現地協議	地元代表者及び関係者の説明、協議
委員の意見	
○ 県道～町道を結び認定基準をみたしている。	
○ この地点から上流、下流に対岸路線の橋が遠いことから災害時の避難道としても重要な路線である。	
○ 要望事項にもあるように、落石災害時の迂回路線としても整備が望まれる。	
以上の内容を主に協議して委員会の審査決定をした。	
(4) 審査結果	採択(全員一致)
(5) 反対意見	なし

陳情第 24 - 10 号

(1) 件 名 陳情書(桧生原)

(2) 現地調査 なし

(3) 現地協議 なし

委員会の意見

○ 願意は理解するが、県議会に対する陳情のありかたを考慮すべし、(請願・意見書)等。

以上の内容で、委員会の審査決定をした。

(4) 審査結果 不採択(全員一致)

(5) 反対意見 なし

陳情第 24 - 13 号

(1) 件 名 陳情書(町道四手ノ川宮ノ谷線改良工事)

(2) 現地調査 平成 24 年 6 月 14 日

(3) 現地協議 地元代表者の説明・協議

委員の意見

○ 陳情書の内容から判断すると全体の改良工事計画と財政面を考慮し、不採択である。

○ 内容は町道の改良であり、委員会独立の原則で当然採択するべき。

○ 地域住人の願意を汲む事、一部改良の目処が立つ事から趣旨採択が妥当では。

以上の内容を主に協議して委員会意見を付し審査の結果とした。

委員会意見

○ 住家までの一部改良、舗装修繕等を計画する事。

(4) 審査結果 不採択(賛成少数)

(5) 反対意見 趣旨採択の内容が適切である。